

私のもものづくりと、 女性技術者としての歩み

東洋建設株式会社

東洋・西松・日下部特定建設工事共同企業体

ポートアイランド(第二期)地区コンテナ

南ふ頭再整備工事

● 森田 もりた 榛菜 はるな



自己紹介

私は、幼少期から大きな構造物にアこがれを持っていました。特に家族でよく淡路島を訪れていたのですが、毎回通っていた明石海峡大橋の迫力に魅せられ、大人になっていくうちにどういった構造で、どんなふうにも造られているのか興味を持ち始めました。大学で土木の専門分野について学び、勉強の一環として工事現場見学会に参加していくうちに、最前線のものづくりに携わりたいという気持ちが強くなってきました。さらに、海岸工学研究室に所属したことがきっかけで、海洋土木の施工管理を強みとした建設会社いわゆるマリコンの存在を知り、東洋建設への就職を決めました。

これまでの業務や仕事内容について

入社してから初めて配属された現場は、神戸港ポートアイランド地区のコンテナターミナルの耐震改良工事でした。ここでは、地震による液状化対策として供用中の荷捌き地内にて地盤改良を行うものでした。私の担当業務としては、地盤改良を行う上で、改良杭の位置を測量して誘導したり、地盤改良中の施工状況の写真を撮影したり、品質・出来形管理を行っていました。地盤改良では、高さ約三五mの三点杭打機を使用したので、ガントリークレーン(コンテナを貨物船から下ろしたり積

んだりするクレーン)との干渉が懸念され、ドローンを使って高さの確認を行ったのが、印象深かったです。また、限られた工事範囲の中で大きな重機を複数稼働させるためには、互いの進捗を常に管理・調整する必要がありました。少しパズルを解くような感覚もあり、施工管理の難しさを感じた現場でした。初めて工事の竣工を迎えた時は、大変だったけれど達成感があり、何より一緒に仕事を進めてきた職員、職長、作業員の方々とお別れするのが寂しかったです。

次に私が配属されたのは、大阪湾内の民間の棧橋の補修工事でした。古くなって劣化した棧橋の一部を補強・補修する工事でした。この工事は、私にとって初めての海上工事でした。潜水士によって、水面下の棧橋構造の調査や補修作業を行うもので、実際に自分の目では状況を確認できないため、潜水士の方とのコミュニケーションが非常に重要であるか感じさせられた現場でした。また、海上工事ならではの法令やルールがあったり、海象条件によっては作業ができないことも多く、陸上工事との違いに戸惑いました。

現在は、神戸港ポートアイランド地区のコンテナヤードの再整備工事に従事しています。複数のユーザーが供用中のコンテナヤードを分割して施工し移転しながら一体化を行う工事です。工事範囲が広く、一日に従事する作業員数も多いため、私の経験上最も規模の大きな工事です。ここでは、作業エリアが点在



現場測量状況 (レベルを見ているのが私)



「どぼジョブWG」集合写真（上段左から5番目が私）

しているため、作業エリア間の調整や打ち合わせを密に行う必要があります。また、二〇二四年度からは、働き方改革制度に基づく時間外労働の規制も厳しくなります。そこで、現場ではいくつかのDXツールを活用しています。

タブレット端末による工事小黒板や、ポータブルGPSを活用することで、一人でも工事写真を撮影したり、測量を行うことができます。また、現場における労働時間の短縮のためにもいくつか便利なツールがあります。例えば、現場で工事資料を確認したい時、オンラインストレージサービスを介してタブレット端末で確認したり、WEB会議ツールやWEBカメラを活用することで、事務所や離れた現場にいる職員間の打ち合わせを移動することなく行えるため、労働時間の短縮に有効であると感じています。実際に所長や主任クラスの上司は、昔は携帯電話もないし写真は現像していたし、それに比べて今はとても便利な時代になったねとよく言っており、私自身もとてもありがたいと感じています。

私たちが取り組んでいること

現在、建設業界においても女性技術者が年々増えており、女性ならではの課題や課題は少なからずあると思います。東洋建設には建設会社において安心して働き続ける体制を整えることを目的に、「どぼジョブWG」なるものが設立され、全国の土木職・機械職の女性職員が年に数回集まり、問題点の洗い出しや対策を議論しています。主にトイレ等の設備面の改善、作業服の改善に取り組み、ワークライフバランスの両立や、キャリアアップの選択肢について議論しています。



趣味のスノーボード

業服については、女性の意見を集約し大きく改善しました。もともとは男女同じサイズ、同じデザインでしたが、女性でも使いやすいようにボタン・ファスナーを男性用から女性用に変更したり、生地については伸縮性があつて軽量なものを選定しました。一新された作業服に腕を通したとき、女性の意見を取り入れてくれたことに喜びを感じました。ワークライフバランスについては、東洋建設では妊娠・出産後の事例が少なく、同期ともよく今後どうしていくか話す機会があります。例えば、現場では時短勤務が可能となったり、支店や営業所で現場で培った技術を活かした業務に従事できるようになれば、これからもいまの会社で働き続けられると思います。今後、私は将来のライフプランの可能性を広げるために、いま現場で働ける貴重な時間を大切に、能力や知識を深めたいと考えています。

今までの方々に続けるかわかりませんが、次号では私が経験してきた昔話と、これからの担う若い方たちへの思いをお話したいと思います。

東北農政局和賀中央農業水利事業所

杉山 雅美

